

守山まるごと活性化 議事要旨

会議名: 第10回 D 安心して暮らせる公共交通を考えるプロジェクト推進会議

日時: 平成29年1月26日(木) 午後8時00分から9時15分まで

場所: 中洲会館 2階 大ホール

出席者: 津田、小林、大塚、石原、森田、上路、中西、棚上

出席者(行政): 地域振興・交通政策課田口主幹、館長、会館主事

使用資料: 次第、公共交通利用ガイドブック、モーリーカー統計資料

議題

- ・モーリーカーの概要説明について
- ・その他
- ・次回の会議について

会議要旨

内容

●モーリーカーの概要説明について

- ・リーダーより、モーリーカーの検討に至った経緯を説明。(前回議事録参照)
- ・田口主幹より、モーリーカーの概要を説明。

【質疑】

- ・登録者数が増加している。 → 400円均一にしたことが影響しているだろう。
- ・目的地に開業医を追加できないか。 → 希望は多いが、タクシーとの差別化ができない。
- ・河西、速野、守山での利用が多いが、交通の便が良いところばかりでないか。 → 交通の便が良いのは、学区内でも差がある。河西は自発的に利用を増やす活動をしていた。
- ・病院は帰りの時間が予測できない。皆さんどうされているのか。 → 行きはモーリーカーで帰りはその他の公共交通を利用される場合や、帰りもモーリーカーを利用するために待つ人もいる(安いため)。
- ・近江タクシー1社でまかなえているのか。 → 1日の利用頻度は、朝が乗車率100%(4人乗車/台)。昼は1人の乗車が多い。現状、2台運行しているが、朝は3台目をキープしている。
- ・登録要件は緩和されないのか。 → 平成24年度に開始するにあたって、交通協議会で対象者を減らすよう指示があった。現にモーリーカーの利用者にうち、25%は、バス・タクシー利用者だったため、影響が出ている。モーリーカーの利用条件が緩和されると、逆に既存の公共交通が撤退することになりかねない。

決定事項

次回以降について

第11回会議:平成29年3月14日(火)20時～

- ・モーリーカーの概要説明を受けて
- ・今年度の総括について

会議要旨

内容

- ・市はバス会社に補助金を交付しているか。→ していない。バス会社は国から補助金を受けている(赤字額の半額)。
- ・レインボータクシーの実験結果は？ → レインボータクシーは“乗り継ぎ”に需要があるか調査をしたが、利用自体が少なかった。“目的地までの運行”が望まれている。
- ・タクシーの半額チケットを配付するのはどうか。 → 対象者の条件や予算面などから、ハードルが高い。特に、モーリーカーとの両立はできない。仮に、半額チケット制度を実施したとしても、利用者の負担がモーリーカーより大きい人もいる。
- ・モーリーカーの昼間の時間帯の利用が少ないなら、当日午前中の予約で午後から利用できるようにならないか。 → 話には挙がっているが、議論にまでは至っていない。モーリーカーはタクシーとして運行できないし、モーリーカーの運行がない場合は、運転手は本業のタクシーの運転にまわる。
- ・自治会長に真剣にもーリーカーの宣伝をするべき。 → 2月自治会長会でガイドブックの全戸配付をするかはかる。

【リーダーより】

- ・各自、それぞれが一度、他市町村の公共交通をインターネットで調べてみることを提案。
- ・次回は、今回説明を受けた内容をもとに、詳細に議論していく。